

新種タジマノキシノブ 但馬南部では普通種



自然・環境再生研究部 コミュニケーション・デザイン研究グループ

鈴木武

タジマノキシノブ *Lepisorus tajimensis* T. Fujiw は 2025 年 11 月に発表された新種のシダ植物です。発表時に但馬地域で 10 地点ほどの分布がわかっていました。形態の特徴と生育環境が理解できてくると、但馬で 60 地点以上に生育すること、養父市八鹿町九鹿（県立八鹿高北西）の山すそにはたくさん生えており、但馬南部ではかなり普通に生えていることがわかってきました。



タジマノキシノブ



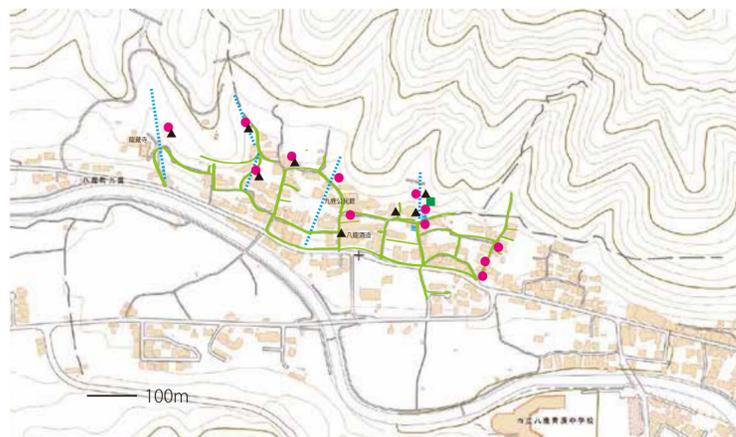
葉裏に大きな鱗片が密に生じる



葉はねじれて、胞子のところで凹むクセがある

八鹿町九鹿周辺の分布

●: タジマ ▲: クロ ■: フジ —: 歩いたところ



小さい溪流浴いの石垣に多い



軒に生えることもある

